

開講計画

全5回／各90分

回	日付	曜日	10:30~12:00
1	10/7	火	「ハムレット」(シェイクスピア作)
2	10/21	火	「ガリバー旅行記」(スウィフト作)
3	11/4	火	「華麗なるギャツビー」 (フィッツジェラルド作)
4	11/18	火	「白鯨」(メルヴィル作)
5	12/2	火	「リア王」(シェイクスピア作)

テキスト・教材

毎回、資料を配付します。

受講上の注意、受講日に持参するもの等

筆記用具

受講料 8,500円

定員 20名

## 各作品の筋を追い、細部を読み解き作品の根底に迫ります

英米文学の代表的な作品を5つ選び、味読します。

- 〈第1回〉シェイクスピアの4大悲劇のうち最も魅力的な「ハムレット」  
主人公ハムレットの陥った事態はどのようなものであったのでしょうか。また、さまざまに仕掛けられた罠を彼はどう切り抜けるのでしょうか。
- 〈第2回〉スウィフトの「ガリバー旅行記」  
私たちが知る小人国の陽気なガリバーとは異なるガリバーがいます。それは地球の各地を巡るうちに人間を呪うようになるガリバーです。
- 〈第3回〉「華麗なるギャツビー」  
大金持ちの娘デイジーに恋したギャツビーは、新興成金になります。毎夜パーティを開いて、彼女に自分の豊かさを見せつけます。彼の恋は実るのでしょうか。
- 〈第4回〉「白鯨」  
エイハブ船長と白鯨との死闘はアメリカ文学のなかでも群を抜いて壮絶です。捕鯨船の船長としてのつとめを無視して白鯨を追跡するエイハブの真意は何でしょうか。
- 〈第5回〉「リア王」  
4大悲劇のなかで最も深く考えさせられる劇です。老いたイギリス王リアは王座から降り、3人の娘に国土を分け与えて、余生を送ろうとします。どのような運命が彼を待ち受けているのでしょうか。

講師

本学名誉教授  
ひらの よりお  
平野 順雄

アメリカ・ヨーロッパ文学に関する研究